整理No.	91

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	612-01	基本施策	快適に暮らせるまちづくりの推進	所管部局	建設部
施　策　名	ユニバーサルデザインのまちづくり			主担当課	建築指導課
				関係部局課	建築課･道路課･都市計画課･まちづくり推進課･障害福祉課
施策の目標	ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりを推進し、すべての人が安心して行動できる、やさしい環境を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
・不特定多数の方が利用する公共建築物のユニバーサルデザインの推進を図り、民間建築物についても、建築確認申請に併せ、条例等に基づく整備が行われているかの確認と適切な指導を行うことで、長野市全体のバリアフリー化を一層図る。また道路についても、道路交差部における歩車道の段差解消、点字ブロックの整備、歩道幅員の確保や、市民・観光客・外国人がわかりやすい道路標識などの整備を推進する。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値(H22)	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値(H28)
歩車道の段差解消箇所数（累計）	箇所	207	361	365				327
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
長野市歩道段差解消要領に基づき実施する段差解消箇所数（Ｈ１３からの累計）	すべての人が使いやすい施設の整備が求められており、歩車道の段差解消を行うことで、高齢者・障害者・子ども連れ等が安心して行動できるまちを目指す。							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値(H22)	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値(H28)
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							

25年度の取組内容実績	・H23年度 段差解消70件、H24年度　段差解消84件、H25年度　段差解消4件

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	順調

	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	・不特定多数の方が利用する道路や市有施設などの公共施設のユニバーサルデザインの推進を図り、民間建築物についても、建築確認申請に併せ、条例等に基づく整備が行われているかの確認と指導を行いバリアフリー化を推進した。 ・ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、イメージや記号による施設の表示や多言語化などを行うことで、すべての人が使いやすい歩行者用案内標識を整備していく。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	・道路の段差解消は、概ね順調に事業が進捗し目標値に達しており、今後は現状の取り組みを維持しつつ、更なる箇所数の増加を目指す。しかし、既存市有建築物等のバリアフリー化に対しては、構造等により、障がい者全ての要望に応じた改修は難しい場合もあり、可能なものから実施している。 ・民間建築物について、建築確認申請に併せ、条例等に基づく整備が行われているかの確認と指導を行い、条例等の適合率を向上させた。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	段差解消箇所は目標を上回る進捗状況にあり順調である。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	・都市整備や公共交通、商工観光や防災分野など、あらゆる人に対応するユニバーサルデザイン推進体制の検討 ・民間建築物については、条例等に基づく整備が行われているかの確認と指導を行っているが、届出だけで実行性に欠ける。	・障害者及び高齢者等が自立した社会生活を営むことができる生活環境整備を目指し、長野市のやさしいまちづくりの推進を図る。 ・条例に基づく届出時に整備基準の不備の指摘をした民間の建築物について、完了後の適合状況の確認と指導が必要。
2	・道路の段差解消については、中心市街地での整備がほぼ完了したため、今後は、郊外の住宅地等で歩行者数の多い箇所について整備を進めていく予定であるが、予算確保が課題である。	車いす使用者や自転車利用者や高齢者など、すべての人にやさしい歩行空間の整備が重要であるため、計画的な事業継続が必要。

施策展開の方向性 （H26年度以降）	・今後も不特定多数の方が利用する公共建築物のユニバーサルデザインの推進や、民間建築物についても、建築確認申請に併せ、条例等に基づく整備が行われているかの確認と適切な指導を行うことで、長野市全体のバリアフリー化が一層図れるように努める。 ・道路については、道路交差部における歩車道の段差解消、点字ブロックの整備、歩道幅員の確保を引き続き推進し、歩行者通行の円滑化を図っていく。

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	あんしん歩行空間事業 ［建設・改修整備事業］ 道路課	長野市段差解消要領に基づき、交差点などの歩道巻き込み部や横断歩道に接続する歩車道の段差解消を進める。	中心市街地から順次計画的に進めている。
2	やさしいまちづくり推進（再掲） ［建設・改修整備事業］ 障害福祉課	点字ブロックの敷設や車歩道段差の解消、市有施設のバリアフリー化など、緊急に改善を必要とする工事を行い、障害者や高齢者などの市民の安全を確保してやさしいまちづくりを推進する。	各所属の要望の中から必要性、緊急性の高いものを優先し実施している。
3			
4			

番号	事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
1	A					継続	9,595	7,184	4,813	6,464
2	C					継続	7,297	12,353	9,850	10,228
3										
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26